

2014.11.29

地価下落地点ゼロに

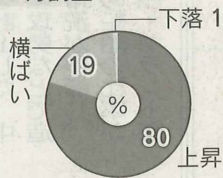
10月 上昇最多、全体の83%

地価の上昇基調が続いている。国土交通省が28日発表した10月時点の地価動向報告によると、3カ月前から地価が下落した地区は2007年10月の調査開始から初めてゼロだった。逆に上昇は全体の83%にあたる124地区と過去最多となった。調査は全国の主な商業地と住宅地の計150地区を対象に3カ月前おきに実施している。地価を「上

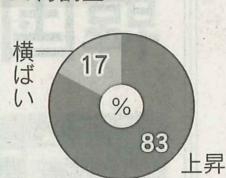
昇」「横ばい」「下落」で判定し、変動率は3%刻みで示す。地域別では東京圏(65地区)で約9割の58地区が上昇。上昇は前回7月

地価上昇の勢いは衰えていない

7月調査



10月調査



の調査から5地区増える。

大阪圏(39地区)は約77%にあたる30地区で上昇し、名古屋圏でも昨年7月時点の調査から6回連続で全14地区が上昇した。地方圏(32地区)でも22地区が上昇した一方、下落地点がゼロとなるなど地価回復の動きは地方にも広がつつある。

た。商業地(106地区)は上昇が89地区となり、前回から2地区増えた。東京・歌舞伎町や立川市の商業地だけでなく、横浜市の住宅地が横ばいから上昇に転じた。国土省地価調査課は「生活利便の高い地区でマンションの開発が活発になっていく」と分析する。

の調査から5地区増える。大阪圏(39地区)は約77%にあたる30地区で上昇し、名古屋圏でも昨年7月時点の調査から6回連続で全14地区が上昇した。地方圏(32地区)でも22地区が上昇した一方、下落地点がゼロとなるなど地価回復の動きは地方にも広がつつある。